

教育研究業績書

令和3年5月1日			
氏名 早川 礎子 印			
認定を受けようとする課程における担当授業科目			
領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育に関する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・環境 ・表現(造形) ・環境指導法 ・言葉指導法 ・言葉 			
教育上の能力に関する事項			
事項	年月	概要	
1 教育方法の実践例 (1) 佐倉日本語学院主宰 (2) 八街市社会教育課主催: 家庭教育学級「子育て支援講座(造形表現)」社会教育講師 (3) 八街市教育委員会主催八街公立幼稚園造形表現社会教育講師 (4) 幼児・児童のための造形ワークショップ (5) 八街公立幼稚園(川上幼稚園)自然観察指導・絵画指導を行う。	平成6年4月～現在に至る 平成8年4月 平成17年1月 平成21年4月～平成26年9月 平成28年6月	外国人児童・生徒・成人の日本語学習支援塾。 幼児を対象とした八街市子育て支援講座として、造形表現を指導する。(八街第一幼稚園) 公立幼稚園の幼児に水彩絵の具を使った絵画表現の指導を行った。 愛国学園(東京都)で幼児・児童の造形表現のワークショップを行った。毎年1回2日間連続講座で6年間にわたって行った。延べ人数700名の子どもを対象にした。 川の生き物のザリガニ釣りをを行い、そのザリガニを観察・絵画指導を担当する。幼児が色を塗って作った独自色の和紙をザリガニの線画に貼り付けた。以後、毎月園行事に参加し、造形表現指導を行う。園児50名。	
2 作成した教科書・教材 (1) 『必読海外派遣心得帖-成功のキ-ポイント』 (2) 中学英語教材『ニュークラウン1・2・3』 (3) 『実践につながる新しい幼児教育の方法と技術』 (4) 小学校教科書副教材『ピッキーとラッキーの不思議な冒険』	平成7年3月 平成8年12月 令和2年3月 令和3年3月	財団法人海外職業訓練協会出版: 雇用促進事業団著作権教材作成委員(～平成8年4月)異文化コミュニケーション教材を制作 成城学園等の私立学校で使用された英語言語教材の挿絵を担当した。(三省堂書店英語教材編集部・田村優光編集) 大浦賢治・野津直樹編・ミネルヴァ書房第二章担当 厚生労働省科学研究補助金食品の安全確保推進研究事業保健機能食品に関する専門家と非専門家のリスク認知の差を解消した効果的リスクコミュニケーション推進を目的とした研究(H30-食品・若手-004)種村菜奈枝班 平成2年科学絵本制作 令和3年全国小学校に教科書副読本として頒布する。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・四街道市民大学講座	平成23年10月・11月	日本の自然環境と色彩学講座 植物染料を使用した染色と布地の種類	
4 実務の経験を有する者についての特記事項 (1) 四街道市町づくりマップ企画会議総合審議計画審議委員 (2) 美術表現を福祉の現場で(随筆寄稿依頼)	平成21年4月～平成26年9月 平成24年6月	デザインの専門家の視点から環境色彩を取り入れた街づくりマップ制作について助言を行った。 社団法人こども環境学会「こども環境研究」掲載	

様式第4号(教員個人に関する書類)

(4)平成28年度第1回千葉県図書館協議会議・2回千葉県図書館協議会議	平成28年7月・平成29年3月	於千葉県消費生活センター 於花見川区役所
(5)脚色：早川礎子 若者の文化芸術活動育成支援事業・千葉県舞台芸術企画採択作品「いのちのはなし～100万回生きた猫」	平成29年10月	劇団公演・かしわ演劇祭(千葉県柏市)に於いて上演・観客投票1位作品として平成30年2月成田国際文化会館に於いて再演
(6)大林研究財団研究助成金	令和2年4月～令和3年3月	都市公園とプレーパークの横断的研究を研究課題として、研究代表となる。共同研究者は八洲学園大学専任講師の小関慶太と常葉大学専任講師の磯崎えり奈。研究助成として118万円を授与されている。令和3年に研究成果を研究集として出版する予定である。
(7)財団法人全国幼児教育研究協会助成	令和2年8月～令和3年8月	単独研究費。日本と韓国の玩具における伝統色彩文化の研究を行う。
5 その他		特記事項なし
職務上の実績に関する事項		
事項	年月	概要
1 資格,免許 (1)高校教諭専修(美術)免許状取得(平6高専第10489号) (2)中学校教諭二種(美術)免許状取得(平一六中二第二七号) (3)文部科学省後援色彩能力検定2級取得 (4)学校司書教諭免許取得(第228379号) (5)中学校教諭専修免許状取得(平16中専第0005号) (6)高校教諭(工芸)1種免許状取得(平18高一第0156号) (7)学芸員取得(証第24号) (8)高等学校教諭外国語(英語)1種免許状取得(平二二高第一七号)	平成6年3月 平成6年12月 平成8年1月 平成12年12月 平成16年6月 平成18年11月 平成19年12月 平成22年5月	東京都教育委員会 千葉県教育委員会 色彩能力検定協会 文部科学省 千葉県教育委員会 千葉県教育委員会 文部科学省 千葉県教育委員会
(9)日本語教師資格	令和2年8月	文部科学省
2 学校現場等での実務経験	5年 1年 1年 3年 3年 21年	1)東京服装文化学院高等科(美術)非常勤講師(平成4年4月～平成9年3月) 2)成田市立久住中学校(美術)・成田市立豊住中学校(美術)非常勤講師(平成7年4月～平成8年3月) 千葉県立姉崎高等学校(工芸)非常勤講師(平成18年4月～平成19年3月) 5)八街市立第一幼稚園 造形表現指導 6)八街市立川上幼稚園 造形表現指導 はやかわもとこ絵画・書道・学修館(学習・日本語支援)主宰(現在に至る)
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成16年11月 平成28年8月 平成30年3月	八街市(千葉県)の公立幼稚園教諭の研修講師(造形表現)として、「造形表現における発達障害児の特徴と対応について」素材提供について造形表現の教育方法について講義、実技の演習を行った。 八街市の公立幼稚園教諭の造形表現研修講師として「造形表現における発達障害児の特徴と対応について」素材提供について講義、演習を行った。 八街市立川上幼稚園に於いて、ジャガイモの種付け作業を行う。子ども達がジャガイモに関わったことを造形表現指導を行う。川上幼稚園は発達障害児を多く受け入れている少人数指導の園である。
4 その他		特記事項はなし

様式第4号(教員個人に関する書類)

担当授業科目に関する研究業績等					
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	概要
環境指導法	(学術論文等) 1. 保育士養成校における保育内容「環境」の実践 (大会論文集)	単	平成 27 年 8 月	日本教育学会第 74 回大会 (1 ページ)	人的環境の保育者は、どのような観察眼をもって幼児を観察するかをアクティブラーニングにより考察した。具体的実践では、環境指導法の演習で紙ヒコキを作る過程で、学生グループの各人がどのような行動をとるのかを観察調査した。そこから発展的に遊べる遊具を取り入れたり、工夫することも重要さ、それらをどのような時に、取り入れればよいのか、幼児の発達段階や興味に応じて、さりげなく用意する配慮を学生達は能動的に気づいた。一つの遊びが様々な分野と関連しており、保育者はその多様性を認識した上で、幼児の関心や、興味を育てていくことを学生に考察させた p85。
	2. 保育者養成校に保育内容「環境」の実践 - 広汎性発達障害の子どもへの対応について - (学術論文)	単	平成 27 年 12 月	日本発達障害支援システム学会 2015 年度研究セミナー (1 ページ)	広汎性発達障害の幼児に対して、視覚的構造化を行う保育内容「環境」の実践を試みた。障害とはマイナスの部分しかもたらさないわけではなく、むしろその障害であるからこそ独特な関わり合い方がある。そういった障害の独自性を、保育者が認め、理解し、共に保育園という環境に関わることで、障害をもつ幼児にとっては大切な経験となる。自閉症の幼児はパニックになりやすいが、パニックを落ち着かせるために、休める小さめの部屋があるとよい。その部屋では、出来るだけ刺激を排除する配慮が必要である。(p171)
	3. 保育内容(環境)についての一考察 - 発達段階の理解と園環境への留意点について (学術論文)	単	平成 28 年 8 月	日本環境教育学会第 27 回東京大会 (1 ページ)	幼稚園教育要領・保育所保育指針で「環境を通しての保育」に基づき保育が組織され、指導にあたっては、自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動できるようにすることが目指される。園環境は、人的環境・物的環境に分けて考えられる。幼児同士が協力して遊具や教材を使い、順番を守り合ったり、譲り合うことは、物的環境と人的環境の重なりといえる。人的環境としての保育者は幼児が主体的に好奇心や探求心を持つと同時に、人との関わり方を学び、協力する力を育てていかなければならない。本稿では、実習を行った学生からの聞き取り調査から、保育者の幼児への対応の留意点について検討した (p199)
	4. 環境を主体的に生活に取り入れるための自然事象との出会いを楽しむ季節の変化に応じた壁面構成への一考察 (大会要旨集)	単	平成 29 年 8 月	日本教育学会第 76 回大会発表要旨録 (2 ページ)	幼児を取り巻く「環境」には大きく分けて物的環境 人的環境 自然環境があるとされる。「物的環境」の側面の一つに『壁面構成』がある。壁面構成は幼稚園や保育所で重要な物と考えられており、多くの園・所に施される。壁面構成が園環境にあるのは、当然の事象として捉えられ、「壁面構成」を制作することは保育者の仕事の一部と位置付けられる。しかし、これまで、「壁面構成」に関する文献はほとんど見られず、「壁面構成」そのものの意義については未だ明らかとなっていない。(pp160~161)
	5. 保育者養成校における環境指導法 - 障害児の物的環境の工夫について (学術論文)	単	平成 29 年 12 月	日本発達障害支援システム研究会第 16 巻第 2 号 (1 ページ)	幼児の発達障害への具体的な支援方法について、幼稚園・保育所実習を終えた 2 年生名に 2017 年 10 月に物的環境における発達障害のある幼児への配慮について自由記述を行った。その結果、2 学生が障害児への個別の安全への配慮・視覚による指示が記述されていた。この観点から、安全に配慮した身近な環境に触れる機会をもち、視覚教材を取り入れた

様式第 4 号 (教員個人に関する書類)

<p>6. 保育者養成校の環境指導法のアクティブラーニング飼育を通して子供に与えるもの・生き物のいる環境が子供に与えるものについて -</p> <p>(大会要旨集)</p>	<p>単</p>	<p>平成 30 年 3 月</p>	<p>第 2 回日本保育者養成教育学会大会(共立女子大学) (1 ページ)</p>	<p>植物の構造の理解と視覚的情報として植物を栽培することを通して、植物の生命の大切さを気づかせる支援が求められていると考える。(P185)</p> <p>幼稚園教育要領・保育者保育指針の領域「環境」の内容は「身近な動植物に親しみを持って接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする」とある。実習経験のない 1 学年の学生への 2017 年の環境指導法、幼児の視点に立って動物の生育過程の調査を行い、考察を試みた。結果を要約すると 1. 命の大切さを知る。2. 飼育方法を知る。調査課題は意外と知らなかった飼育方法を知ることができて、有効であると述べる学生が 63 人中 63 人の結果となった。飼育方法 骨格・歯の生え方について園児に教えることができるから役立つと考えていることが明らかになった。これは、環境指導法の一つの視点として、調べ学習を定期的に取り入れる重要性を示唆する。講義形式の基礎的な知識注入型の授業と併用して、学生が能動的意志を持って、一つの課題に取り組む課題を集中講義に組み入れることにより、学生の動物への気づきを支援できることが明らかになった。</p>
<p>7. 科学絵本を活用した保育内容・環境の教育方法</p> <p>(大会要旨集)</p>	<p>単</p>	<p>平成 30 年 8 月</p>	<p>日本環境教育学会第 29 回年次大会要旨集(東京学芸大学)</p>	<p>都市部の保育者養成校では、いかに環境指導法の授業に自然を取り入れ、有効に進めるかは、教育方法に工夫を要する課題である。</p> <p>幼児期の草花遊びについて、学生が植物のどの構造に興味を持っていたかを検討する。授業で学生の選択した植物と草花遊びの事例から、自然とかがわってきた学生の幼児期の実態を探る。調べ学習の観点を通して、その導入が学生にどのような影響を与えるのかを考察する。(p140)</p>
<p>8. 幼児教育における環境指導法の実践 科学絵本の教育的意義についての検討</p> <p>(大会要旨集)</p>	<p>単</p>	<p>平成 30 年 8 月</p>	<p>日本教育学会第 77 回大会(宮城教育大学)</p>	<p>都市部の保育者養成校では、いかに環境指導法の授業に自然を取り入れ、有効に進めるかは、教育方法に工夫を要する課題である。</p> <p>幼児期の草花遊びについて、学生が植物のどの構造に興味を持っていたかを検討する。授業で学生の選択した植物と草花遊びの事例から、自然とかがわってきた学生の幼児期の実態を探る。調べ学習の観点を通して、その導入が学生にどのような影響を与えるのかを考察する。(pp103-104)</p>
<p>9. 保育者養成校における ICT 活用の環境指導法の実践 プロジェクト学習の実践</p> <p>(大会要旨集)</p>	<p>単</p>	<p>平成 30 年 12 月</p>	<p>日本理科教育学会関東大会(宇都宮大学)</p>	<p>教育の情報化ビジョンに基づき、デジタル機器とネットワークを活用した新しい学びの推進と、教師の指導力の向上が図られる。ICT(情報通信技術) は、学習者中心の自律的な学習、多様なツールが活用できる協同的、参加型の学習の学習環境の構成を支援する。幼稚園教育現場の ICT 活用研究は 1980 ~ 1990 年代以降である。今後、様々な観点から ICT 活用に関する教育内容は、積極的に展開されることが望まれている。そのためには、ICT 活用の効果的な学習方法の検討が必要である。本稿では応答的授業を取り入れたことによる環境指導法の効果的な教育方法を検討した。(p94)</p>
<p>10. 幼児教育における保育内容「環境」</p>	<p>単</p>	<p>平成 31 年 3 月</p>	<p>小田原短期</p>	<p>戦前・戦中・戦後の幼児保育史を概観し、</p>

様式第4号(教員個人に関する書類)

<p>の変遷における一考察 (学術論文)</p> <p>11. 幼児の「能動性」に着目した保育内容「環境」へ繋がる領域について (学術論文)</p> <p>12. 幼児の遊びにおける植物の自然科学的研究</p> <p>13. 環境指導法における物的環境 東アジアの玩具の色彩の文化比較 (学術論文)</p> <p>14. プレーパークの利用者と運営者の視点からの横断的調査の意義 予備的な見地より (大会要旨集)</p> <p>(著書)</p> <p>1. 『実践につながる新しい幼児教育の方法と技術』</p>	<p>単著</p> <p>単著</p> <p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p>	<p>月</p> <p>令和元年 6月</p> <p>令和元年 8月</p> <p>令和 2 年 5月</p> <p>令和 2 年 6月</p> <p>令和 2 年 3月</p>	<p>大学研究紀要 49号</p> <p>財団法人総合研究機構 CROSST&T</p> <p>日本教育学会第78回大会論文集</p> <p>日本保育学会大会論文集</p> <p>こども環境学会</p> <p>ミネルヴァ書房</p>	<p>保育内容「環境」に関連する1876(明治9)年以降の保育内容に着目して、成立の背景を調査し、その保育内容「観察」から継承された保育内容「環境」の「ねらい」の相違点を考察し、保育内容「環境」と接点がある「生活科」の目標との類似点を取り挙げ、質的側面と量的側面からの保育内容「環境」の指導法を検討して、保育内容「環境」の授業の方向性を考察することを目的とする。(pp244~256)</p> <p>幼児教育史を概観し、保育内容「環境」に関連する領域の「ねらい」を明らかにした。その結果、幼稚園創生期の「ねらい」は、植物等の「自然観察」「観察」「園芸」「栽培」と、それに対する問答に重きが置かれていたことがわかった。さらに、保育内容「環境」に関連する領域についてみると、名称は変遷しているが自然現象・動植物を能動的に観察する活動を中心としていたことがわかった。しかし、今日の保育内容「環境」は、幼児の社会環境の変化から、自然物を対象にした「観察」の範囲を超えて、広く幼児の環境を捉えなおさなければならない。(pp47~51)</p> <p>自然科学的教材の「ねらい」を考察し、幼稚園創生期から「自然観察」「観察」「園芸」「栽培」と、能動性に重きが置かれたことがわかった。しかし、今日の「環境」は幼児の社会環境の変化から、自然物を対象にした「観察」範囲を超え、広く幼児の環境を捉えなければならない。(pp73~74)</p> <p>民族の伝統色彩文化は、生活様式に深く関わっているものであり、自然環境の中で得たこれらの色彩感覚は、これまでの歴史の中で装飾を中心とする伝統文化として継承されてきた。日本と韓国の色彩文化の象徴性について考察した。日本の伝統色彩は今日、赤のみが特別に使われており、儀式的時にのみ継承されているのに対して、韓国の伝統色彩五方色は衣食住の生活文化の中に取り入れられていることがわかった。</p> <p>大林研究財団助成研究</p> <p>第二章環境指導法を担当する。環境指導法を概観して、幼児の4学びの推進役としての保育者の役割について考察している。2018(平成30)年、幼稚園教育要領第総則の目標において幼稚園は幼児が「自由感」をもって行動できる場でないといけないとされている。幼児が好奇心に満ち、かつ行動であり、幼児自らが環境に働きかけ、試行錯誤を繰り返しつつ、体験や学びを重ねて発達を遂げていくことを推進していく役割が保育者にはある。</p>
---	---	---	--	--

様式第4号(教員個人に関する書類)

					(p15~28)
環境					再掲のため、略
表現(造形)	(学術論文等) 1.発達障害のある子どもの造形指導と支援についての考察	単	平成23年5月	こども環境学会2011年大会(東京)(1ページ)	自閉症スペクトラム障害の特徴を示す幼児の造形制作実習を通して、発達障害の幼児の手先の不器用さを支援する方法を考察し、造形指導方法を検討する。(p57)
	2.自己肯定感を育てる造形表現-自閉症をもつ児童の造形活動における教育実践を通して	単	平成23年12月	日本発達障害支援システム学会2011大会論文集(2ページ)	自閉症スペクトラム障害の特徴を示す幼児は、興味へのこだわりが強い。こだわりが一つの興味への集中として現れる。特徴は繰り返しの作業を好む。このような工夫やアイデアはユニバ-サルデザインやバリアフリー-の考え方から緩用することも可能であるが、日々の幼児の行動観察から得られることも少なくない。また、こういった環境への配慮はいずれも健常の幼児にとっても生活しやすいものになることに留意。(pp172~173)
	3.手先に困難さをもつ児童のための美術教育-見通し視覚と視覚化による支援	単	平成24年4月	美術科教育学会2012大会(1ページ)	自閉症スペクトラム障害の特徴を示す幼児は、その障害からもたらされる手先の不器用さが特徴とされる。そのため作業を視覚化した指導方法が有効であることを考察した。(p67)
	4.特別な支援を要する子どもの造形表現-環境構成を通して	単	平成24年5月	日本保育学会第65回大会(1ページ)	自閉症スペクトラム障害の特徴を示す幼児の特徴から、立体感をもつことが苦手とすることが事例調査から考察できる。そのため、平面的造形活動を取り入れていくことが求められる。(p499)
	5.保育環境構成を通しての子どもの造形表現に関する考察-型による反復練習を通して	単	平成24年5月	こども環境学研究第8巻1号(1ページ)	自閉症スペクトラム障害の特徴を示す幼児は、その障害からもたらされる手先の不器用さが特徴とされる。そのため自己肯定感を育てる造形指導が現場では求められている。反復の作業を取り入れて、成功感が持てる(p53)
	6.造形課題にみる自閉症児の応用課題発展についての考察	単	平成24年8月	第47回日本発達障害学会誌第47号論文集(1ページ)	自閉症スペクトラム障害の特徴を示すの保育の現場で保育内容(環境)の環境構成とは物的環境・人的環境に分けられている。物的環境・人的環境として環境構成をした場合、自閉性障害の幼児の特徴・対応について型による反復練習を取り挙げて考察した。(p71)
言葉指導法	(学術論文等) 1.言葉の遅れた子供への指導法の一考察-保育士養成校の言語表現科目の教授方法	単	平成27年7月	日本発達障害学会第50回研究集会(1ページ)	学習支援実践の中で自閉症スペクトラム障害の特徴のある幼児は、言葉発達の遅れが見られる。この支援として児童文化財に触れることで、言葉に関心を持つようになる。保育者の温かい眼差し、笑顔、優しい声は安定させた情緒を育てていく。絵本やお話の中には、日常生活の中では感じるできない内容や言葉がある。それを通して、新しい語彙を増やすことに繋がっていく。また、お話を聞くという事は幼児自身で内容をイメージし、感性豊かな人間を育むことになり、言葉によって表現することができるようになる。視覚優位の発達障害の視覚特性の構造化に留意した授業で行ってきた実践的な紙芝居・絵本の読み聞かせ・群読等を通して、発達障害を理解しつつ、指導にあたることを考察した。(p85)
	2.乳幼児の言語指導法の現状と課題-児童文化財による言語獲得の経緯についての考察-	単	平成28年8月	日本発達障害学会第51回研究集会(1ページ)	人や、物、言葉に関して関心を示し、それらに働きかけたり、自分で操作したり、自分の中に取り入れたいという外界に対する積極性を発揮することを通して、言葉は獲得される。言語指導法において、保育者を目指す学生が幼児の言語獲得の経緯を理解し、それを促進するために、どのような支援をすることが重要かという学生の気づきを誘発する。(p80)

様式第4号(教員個人に関する書類)

	3. 保育場面の保護者支援のマナ - について - 傾聴・非審判的態度・受容 (学術論文)	単	平成 27 年 8 月	秘書サ - ビス 接遇教育学会 21 回大会報告 (3 ページ)	保育場面の保護者支援で保育者とのトラブルが多いのは、言葉のマナ - に対してである。そこでは、傾聴・非審判的態度・受容の態度が求められている。それは少子化による保護者のストレスや悩みを抱えるようになった社会情勢があるためだ。この情勢に対応するために、保育者養成機関ではアクティブラーニングによる保護者対応を行う授業を展開している。(pp16~18) (表現(造形)に再掲のため、略)
	4. 児童文化財の絵本にみる環境教育について - 0.1.2. 歳と 3.4.5 歳の絵本を比較して (学術論文)	単	平成 30 年 3 月	第 12 回日本環境教育学会関東支部大会・第 12 号支部論文集(学習院大学)(2 ページ)	児童文化財の絵本には、環境教育に関する題材が取り上げられている。食育・植物の栽培・動物を主人公にした作品・動物の形態を題材にした作品等がある。これを年齢別に調査して、どのような特徴があるかを調査し、考察していく。(pp27-32)
	5. 物語絵本・科学絵本による視覚言語を通しての言葉指導法 心情描写・観察描写にみる (大会要旨集)	単	平成 31 年 6 月	第 136 回全国大学国語教育学会大会要旨集	有形児童文化財の絵本は、家庭や保育所、幼稚園、学校や図書館等、身近にあるため、絵本はどのようなものか、なぜ多くの人を引き付けるのか等の児童文化財の本質に迫る問いに答える研究はほとんどされてこなかった。しかし、今日、絵本研究は日本理科教育学会・日本科学教育学会・絵本学会・保・幼小連携の研究が近年蓄積され、補助教材の絵本研究も試みられる。本稿では幼小連携に繋がる物語絵本と科学絵本を取り挙げて、国語科教育・科学(理科)教育分野の絵本活用の授業実践から、今後の幼児教育における絵本の読み聞かせの指導方法の着眼点について検討していくことを目的とする。(PP243~244)
	6. 保育内容「環境」に繋がる絵本による言葉指導法 (大会要旨集)	単	平成 31 年 6 月	第 26 回日本こども社会学会大会要旨集	近年、理科教育では幼児の科学探求心へのきっかけ作りとして、科学絵本の活用が有効とされる研究が行われている。幼児対象の科学絵本の実態を明らかにするために、絵本が扱っている科学分野を調査した。先行文献調査を行い、読み聞かせの効果と有効な読み聞かせ場面についての検討し、読み聞かせの保育場面は、(1)保育の導入場面(2)行事の前後であり、再認識・共感の効果があることが明らかにされた。それは、科学絵本の特徴である物語性からの興味・関心の誘発が効果的に行われることに起因する。(pp30-31)
言葉	(学術論文等)				
	1. 言葉の遅れた子供への指導法の一考察 - 保育士養成校の言語表現科目の教授方法	単	平成 27 年 7 月	日本発達障害学会第 50 回研究集会 (1 ページ)	再掲のため、略
	2. 乳幼児の言語指導法の現状と課題 - 児童文化財による言語獲得の経緯についての考察 -	単	平成 28 年 8 月	日本発達障害学会第 51 回研究集会 (1 ページ)	再掲のため、略
	3. 保育場面の保護者支援のマナ - について - 傾聴・非審判的態度・受容	単	平成 27 年 8 月	秘書サ - ビス 接遇教育学会 21 回大会報告 (3 ページ)	再掲のため、略
	4. 児童文化財の絵本にみる環境教育	単	平成 30 年 3 月	第 12 回日本環境教育学会	

様式第4号(教員個人に関する書類)

<p>について - 0.1.2. 歳と 3.4.5 歳の絵本を比較して</p>	<p>単</p>	<p>月</p>	<p>平成 31 年 6 月</p>	<p>会 関 東 支 部 支 部 大 会 ・ 第 12 号 支 部 論 文 集 (学 習 院 大 学) (2 ペ - ジ)</p>	<p>再掲のため、略</p>
<p>5. 物語絵本・科学絵本による視覚言語を通しての言葉指導法 心情描写・観察描写にみる</p>	<p>単</p>	<p>月</p>	<p>平成 31 年 6 月</p>	<p>第 136 回 全 国 大 学 国 語 大 教 育 学 会 大 会 要 旨 集</p>	<p>再掲のため、略</p>
<p>6. 保育内容「環境」に繋がる絵本による言葉指導法</p>	<p>単</p>	<p>月</p>	<p>平成 31 年 6 月</p>	<p>第 26 回 日 本 こ ども 社 会 学 会 大 会 要 旨 集</p>	<p></p>